

日本共産党杉並区議会議員

週刊

# こんにちは 山田耕平 です

2012.7.19 No.80

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11  
TEL 090-9973-0941  
ホームページ  
<http://yamadakohei.jp>



## いま、歴史が変わるとき! さよなら原発10万人集会に17万人!



### 原発からの撤退求め 国民の意思が集結

七月十六日(月・祝)に行なわれた「さよなら原発10万人集会」は、日本全国から十七万人が参加。大勢の参加者が心ひとつに「原発からの撤退」を迫りました。

私も家族や保護者仲間、友人たちと参加しました。会場は、私の人生で経験したことのない熱気に満ち溢れており、歴史が変わる一コマに立ち会っていることを実感しました。脱原発の運動は、今後ますます盛んになっていくでしょう。私も全力で頑張ります。



当日の号外配布などで一躍有名になった「赤旗チヤーターヘリからの空撮写真」(上)ですが、赤旗「いい仕事」しています。沿道はデモ隊で溢れかえりました(右)

### 育メン日誌

#### 家族揃って参加 息子も頑張りました!

集会には、家族揃って参加。炎天下での集会・デモになるため、熱中症対策には気合いを入れました。特に息子のために、冷却シート、小型扇風機、各種果物(特に桃)にドリンク、塩気のある食べ物など、万全の準備をしました。そのおかげか、息子は終始、元気いっぱい!私と妻の方が、疲労困憊でした(笑) 安保闘争などを経験したことの無い私たちの世代にとっては、人生初の大規模な国民的大運動に取り組んでいます。

歴史の新たな1ページを息子と共に体験できて良かったです。



息子もいつか、この日を振り返る時がくるのでしょうか。



今回の運動の特徴は、一般の市民(特に、保護者)が多く参加していること。私たち保護者は、子どもたちの未来を守るために、黙っているわけにはいきません。

7月29日(日)「脱原発国会大包围」  
が行なわれます。ぜひ、ご参加ください!

高齢者向けサービスを紹介します④

# ふれあい収集（玄関先へのごみの収集）

## ごみ出しが困難な 高齢者・障害者の方に

杉並区の「ふれあい収集」をご存知でしょうか。ごみを集積所まで持ち出すことが困難なひとり暮らしの高齢者や障害がある方のみ世帯には、戸別に対象世帯の玄関（ドア）前からごみ（可燃、不燃）・資源（古紙、びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装類）を収集するサービスがあります。

あらかじめ清掃事務所の職員が訪問し、収集開始時期、引き取り場所などを決めます。

とても便利な制度ですので、ごみ出しが困難な方がいらっしやいましたら、ご利用をお勧めします。

### 【対象となる方】

◇ 65歳以上のひとり暮らしの高齢者、または障害者のみで構成する世帯のうち、自ら集積所までごみを持ち出すことが困難で、身近な人などの協力を得ることができない世帯

### 【申込方法】

◇ 最寄りの清掃事務所に直接ご相談ください。



### 申し込み・問合せ

杉並清掃事務所作業係

TEL 03(3392)7281

FAX 03(3392)0940

杉並清掃事務所方南担当作業係

TEL 03(3323)4571

FAX 03(3323)5171

# 党杉並区議団で申し入れを実施

## 地方自治体の要請に基づかない 自衛隊の「災害対処訓練」中止を

七月十三日（金）、陸上自衛隊の「災害対処訓練」（杉並区では十六日夜間に実施）の中止を求め、杉並区に申し入れを行ないました。くすやま区議と私が参加し、区危機管理室長が対応しました。

関係自治体に直前まで知らされず

この訓練は、六月十六日から十七日にかけて「災害対処訓練（二三区展開訓練）」として、各地域で行なわれ、杉並区では、「連絡班」が十六日夜間に区役所前に到着しました。

訓練は、関係自治体に直前まで知らされないまま計画されています。さらに、一般区民が参加しない自衛隊の単独訓練であること、戦闘作戦と同様の手順で市街地で訓練が行なわれるなど、通常の訓練とは異質のものとなっています。

緊急の申し入れ

災害対応は自治体からの要請と連携が必要不可欠

今回の訓練に対し、区民から「災害対応に名を借りた軍事訓練ではないのか」などの不安の声が上がっています。そもそも大規模災害が発生したときに、あらゆる手段をつくして住民の命と財産を守るために、自衛隊が救援活動を行なうことは当然です。しかし、その場合も、住民に密着した自治体からの要請と連携が必要不可欠です。

本来の防災訓練は、住民、自治体、消防、警察、事業者などととともに、防災力の向上を中心として行なわれるべきです。

